

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、公表されたブラジル10月サービス業購買担当者景気指数(PMI)が、8ヶ月連続で拡大・縮小の分岐点となる50の水準を下回る43.0を記録するなど、ブラジル経済の低迷ぶりが改めて浮き彫りとなったものの、ブラジル中銀によるドル売り介入の効果もあり、ドル売りレアル買いが優勢の展開。3.78台前半で取引を終えた。中銀は、今週2度目となる5億ドルの買戻し条件付きドル売り介入を実施(期日は来年1月4日、及び4月4日)。足許のレアル安を牽制している側面もあるが、外国企業が本国に利益を送金する(リパトリエーション)ためのドル需要(一般的に年末にかけて需要は増加する傾向にある)に対応するという狙いもあると推測される。一方、米国では新規失業保険申請件数が公表され、27.6万人を記録(5週ぶりの高水準)。4日のADP民間雇用者数とは相反する数字となっており、雇用を巡る見方に依然として不透明感が残っているが、その点を見極めるためにも、本日公表される10月雇用統計への市場の注目度は高まっている。

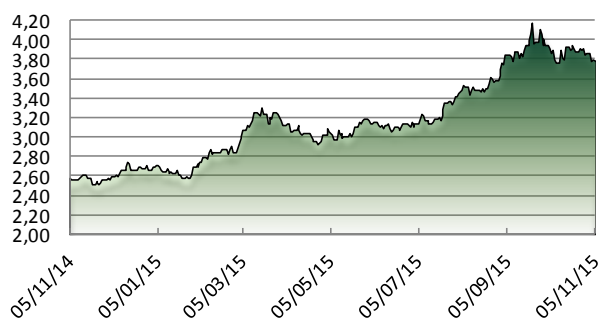
ブラジル中銀のAltamir Lopes経済政策局長は昨日、「2017年にインフレ率を目標の中心値である4.5%に収束させるために必要な措置を講じる」との考えを示した。「インフレ圧力が今後も沈静化しない場合、中銀は追加利上げに動く可能性がある」という姿勢が示唆されている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	11月4日	11月5日	前日比	10月5日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,7998	3,7800	-0,0198	3,9114	-0,1314
	対円	JPY	31,99	32,21	+0,22	30,80	+1,41
	対ユーロ	BRL	4,1265	4,1155	-0,0110	4,3768	-0,2613
円	対ドル	JPY	121,57	121,75	+0,1800	120,46	+1,2900
	対ユーロ	JPY	132,09	132,51	+0,42	134,77	-2,26
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	47.710	48.047	+337	47.598	+449
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	392,0	399,4	+7,4	412,3	-12,9
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,45	15,53	+0,08	15,34	+0,19
DI Future Jan17 (金利先物)		%	15,35	15,37	+0,02	15,40	-0,03
3 Months US Dollar Libor		%	0,337	0,337	+0,000	0,323	+0,014
CRB Index (国際商品指数)		Index	194,1	192,4	-1,7	196,4	-4,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

